

報道機関各位

熊本大学

高精細複製文化財を活用した美術鑑賞の授業を企画

熊本大学教育学部美術理論・美術史研究室では、小中高における美術鑑賞の効果的な教授法について研究しています。この度、NPO 法人京都文化協会の全面的な協力の下、高精細文化財を活用した美術鑑賞教育のプロジェクトを開始しました。具体的には、狩野探幽「松鷹図」などの屏風を高精細かつ実物大に複製された文化財を用いて、県内の学校を訪問し、伝統文化に親しんで貰う授業です。

そのプロジェクトのキックオフ企画として、下記の通り3月8日に南関町立南関中学校にて、日本財団の助成により複製された米国・国立スミソニアン協会フリーア美術館所蔵の酒井抱一「三十六歌仙図屏風」を用いて授業を行います。フリーア美術館の所蔵品は、設立者の遺言によって館外不出とされているため、日本の文化財でありながら日本で鑑賞することが難しいものです。そのため、複製文化財を活用することによって、なかなか見ることの叶わない作品を間近で鑑賞することができる上に、“美”の外交官としての役割を担う在外文化財の歴史的背景を学ぶことで、自分の国や地域の文化財を守る意識をも育てることもできるはずです。

加えて、この企画は九州圏内で初の試みであり、酒井抱一「三十六歌仙図屏風」を用いた授業は全国初のこととなります。是非とも、取材をお願いしたく存じます。

なお中学校という性質上、取材にあたっては、事前に申込みの程宜しくお願いします。

記

【日 時】平成28年3月8日（火）14：55～15：45

【場 所】南関町立南関中学校（玉名郡南関町大字小原 2121-1）

【プロジェクトに関するお問い合わせ先】

熊本大学教育学部美術科

担当：水野裕史

TEL：096-342-2675

E-mail：myuji@educ.kumamoto-u.ac.jp

【取材申込先】

南関町立南関中学校

担当：吉田香寿美

TEL：0968-53-0005

E-mail：yoshida-k8@tsubaki.higo.ed.jp